

平成27年度 三条市外国語活動部 活動報告

部長 竹石 亜生

1 研究主題

担任が楽しく活動できる外国語活動の効果的な指導

2 研究の概要

(1)授業づくりセミナー

講演 ①「Hi, friends!」を活用した活動案の紹介

②英語授業づくり講座

講師 新潟市立坂井輪小学校 教諭 坂井邦晃先生

(2)概要

①外国語活動の授業を進める上でのルール作り

②ALTとの打ち合わせ、役割分担

③外国語活動の計画作りでのポイント

④絵本を活用した活動の提案

3 研究の実践

6月25日(木)井栗小学校において、外国語活動部の研修を実施した。「Hi, friends!」をベースとして、どのように活動を展開すればよいのか、ねらいはどうかなど、子どもたちの五感を十分に活用できるような計画づくりを講話していただいた。

(1)多重知能理論の円グラフが示す8つの知能

人間は、8つの知能をもっており、人それぞれ優れている知能が異なる。8つのそれぞれの知能の特徴について説明を受け、自分がどの知能を働かせることが得意かを自己分析した。その後、部員の人々で比べることで右脳と左脳をバランス良く働かせることの必要性を改めて感じた。



(2)絵本を活用した模擬授業

今回は、「はらぺこあおむし」の絵本をもとに、模擬授業をしていただいた。まず、登場してくる主な言葉を英語で発音し、ジェスチャーをつけて練習をした。その後、話を聞きながら、数字や曜日の言葉を言い、絵本の世界に引き込まれていった。



坂井先生の実践は、すぐにでも活用できそうな要素がたくさん含まれており、部員も子どもになったつもりで楽しく活動することができた。実践の要所に「なるほど」と納得するところがあり、「Hi, friends!」の活用の広がりを感じ、とても有意義な研修となった。

4 成果と課題

今年度は、全国サミットがあることから教科研修が1回のみとなったが、模擬授業や実践発表という研修を通して、担任ができる活動の工夫や展開の仕方を学ぶことができた。教材研究ももちろん大切だが、気軽にできる活動もとても魅力的であり、子どもたちを十分理解している担任ならではの活動が期待できる要素をたくさん得た。

また、三条市は小中一貫教育を実施しており、小学校から中学校へのつながりを理解したうえで、活動の計画立てる必要がある。小中一貫教育カリキュラムを改善していくためにも、今後もこの研修を自学級で試行し、部員同士で情報交換していく必要がある。

